



令和5年9月19日 発行

第 85 号

浄土真宗本願寺派
 山陰教区 神門組
 発行者 鈴木二郎
 TEL 0853②1570
 FAX 0853③3953



**親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要記念
 「キッズサンガく本願寺児童念仏奉仕団く」にお参りしたよ!**

神門組少年連盟は、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要記念「キッズサンガく本願寺児童念仏奉仕団く」に、子ども十二人・引率五人で八月一日〜二日に参加しました。

本山での日程は、次のとおりです。

【一日目】

各団体の自己紹介、開会式（おつとめ・お話）
 清掃奉仕、HONGANJI横断クイズ

【二日目】

お晨朝お参り、クイズ答え合わせ大会
 記念撮影・ご面接、閉会式（感謝状伝達・お話）

猛暑の中、子どもたちは元気に本山探検をして、有意義なご縁をいただきました。

合掌



御影堂をみんなで雑巾がけをしたよ!!



親鸞のゆのたまごー
 大きいなあ…

第十七回
世界仏教婦人会大会に参加して

神門組仏婦連盟

委員長 嘉本 育子
(善福寺門徒)

第十七回世界仏教婦人会大会が五月十一日・十二日に親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要に併せて開催され、山陰教区からは五十九名(神門組からは四名参加)の皆様と、バス二台でお参りしました。初日はご本山での慶讃法要に参拝し、その後会場を国立京都国際会館に移して、第十七回世界仏教婦人会大会が始まりました。四年ごとに開催されるこの大会。今回日本での大会には、ハワイ・カナダ・北米・南米の開教区から約四百名の参加がありました。海外の方の体験発表・民族舞踊など見せていただきながら、当時の一世二世の方々のご苦労が思われました。そして、これまで浄土真宗を繋いでこられたことに深い感銘を受けました。この度のご法要・大会に参加して一番心に残ったのは、御苦労の多かった親鸞聖人のご一生に、師法然聖人との出遇いに恵まれて、浄土真宗を開かれたこ



と。人の出合いの大切さ、改めて私たちも日常の出会いを大切

にしていきたいと思いました。そして次の五十年先の法要には、子や孫がご縁を喜び、共々にお念仏を称えながらお参りしてほしいと願いました。合掌

体験発表
大迫五十鈴さん



令和五年度神門組仏教婦人会
連盟役員会・研修会開催

日時 令和5年6月19日(月)
13時30分～16時40分
会場 出雲市民会館三〇二室
研修会(役員会終了後)
講師 前仏婦総連盟会長
大迫五十鈴さん
演題 仏教婦人会のこれまでとこれから
私の歩んだ道

令和五年度
神門組総代会研修会

神門組総代会東部ブロック理事
正善寺総代 三成 淳夫

七月六日(木)、出雲ロイヤルホテルを会場に「令和五年度神門組総代会研修会」を開催しました。

この研修会は、神門組を五地区に分けて、毎年順番に開催を担当しています。新型コロナウイルス感染症の拡大以来ここ数年は中止となっておりましたが、今年度は東部地区が担当としてお世話させていただきました。

当日は、ご住職方を含め七十七名(総代五十五名、僧侶二十二名)の参加があり、久しぶりに皆さんが集い、賑やかな会になりました。

開会式では西念寺住職雲藤一英師の調声で「讃仏偈」をお勤めし、引き続き神門組総代会会長の神田進氏(光林寺)、神門組組長明顕寺住職鈴木二朗氏の挨拶がありました。

続いての研修会では、四月から山陰教区教務所長・山陰教堂主管に着任された長(はやし)利信師のご法話を聴聞しました。「本講題は「門徒総代として」。「本



合掌

願寺派全国門徒総代会」の編集により刊行された冊子『門徒総代として一歩もう住職とともに』(本願寺出版社発行)をテキストに、総代としての責務をお聞きし、改めて自坊の護持興隆に、住職とともに努めなければと感じさせていただいたご縁でした。

懇親会では、久しぶりにお会いする総代・住職の皆さんと、各寺の情報交換を交え共々に和やかに懇親を深めました。

今回東部の担当でしたが、準備の期間が短く、皆様方にはご迷惑をおかけしたと思います。ご参加いただいた皆様方、担当いただいた東部総代会の皆様方に厚く御礼申し上げます。

神門組仏教壮年会連盟
 令和五年度 総会・研修会を開催
 連盟事務局長 馬庭 光夫
 (願楽寺門徒)



伊藤連盟理事長

神門組仏教壮年会連盟は、七月十七日(海の日)午前九時三十分から船津町の正善寺を会所に「令和五年度神門組仏教壮年会連盟総会・研修会」を開催しました。昨年も同所で開催を予定していましたが、六月末からコロナ第七波が猛威を振るい、直前に中止を判断することになり、会所正善寺様には二年続けてお願ひする事となり申し訳ありませんでした。幸い五月八日から新型コロナウイルス感染症の格付けが変更となり、当日は天候にも恵まれ、各寺顧問様、会員の皆様合わせて84名の参加をいただき、満堂の中での開催になりました。

開会式では、会所住職の調声により「重誓偈」をお勤めし、「仏教壮年会綱領」の唱和の後、

伊藤貴博仏教壮連盟理事長の開会の挨拶、神門組組長鈴木二朗師、組実践委員長佐々木弘信師より来賓のご挨拶を賜りました。

続いて会所寺院の仏社会を代表して本田和政会長から歓迎の言葉があり、最後に「仏教壮年の歌」を斉唱して総会に移りました。

総会では、令和四年度の事業並びに決算報告、令和五年度事業計画(案)並びに収支予算(案)が審議され、いずれも原案通り承認されました。当日会場で、宗門の実践運動「子どもたちの笑顔のために募金」を取り上げ、二万四千七百円余りのご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。

総会に続く研修会では、本願寺派布教使で出雲組覚専寺住職の佐々木俊教師から法話「新しい領解文の心をいただきました」を聴聞させていただきました。マスコミの報道や、宗門内での動向等についても率直に聞く事ができました。

この度、会所寺院の正善寺様・正善寺仏社会員の皆様には早朝から準備等にお世話をいただきましたことに対し、厚くお礼を申し上げます。

来年度は、今市町明顕寺様で

お世話になります。皆様また元気でおいしましう。合掌



フードバンクのお願い

【第二回】

令和5年12月6日(水)

10時~15時

明顕寺までお持ち出しください

お悔み

長泉寺(矢野町) 前任職三浦浄信師が、令和5年7月8日、75歳でご往生になりました。ご生前のご苦勞を偲び、謹んでお悔やみ申し上げます。

結婚のご挨拶

願楽寺 若院 西本 智浩
若坊守 真弥

このたび、西念寺住職様ご司婚のもと、令和4年11月26日、願楽寺本堂において仏前結婚式を挙げさせていただきました。コロナ禍にもかかわらず、ご来賓、ご門徒をはじめたくさんの方々から祝福いただき、この上ない喜びとともに身の引き締まる思いがいたしました。

入寺しました若坊守は本願寺派寺院出身ですが、本山勤務のため京都での生活が長かったこともあり、新しい環境に慣れない面もあります。戸惑うことも多いですが、多くの方々のおかげにより、日々お念仏の日暮らしをさせていただいておりますこと、ありがたく思っております。

私たちはまだ未熟であり、皆さまにいろいろ助けていただくことも多いとは思いますが、平穩な日も、苦難な日もつねに浄土真宗のみ教えを聞きひらき、ご法義繁盛のため力を合わせて歩んで行きたいと思っております。今後とも温かい眼で見守り、

お育ていただきますようお願い申し上げます。 合掌

新住職の挨拶 時代の変化と人の想い

慶正寺住職 三谷 晃称



この度、慶正寺第九代目住職を継職いたしました、三谷晃称と申します。先

代である祖父は、大学卒業から住職として昭和・平成・令和と三つの時代を見守ってきました。私もまだまだ若輩の身での継職となりましたが、気を引き締めてこれからの長い時間を自坊とともに歩んでゆく所存です。

十三年前に祖母が往生し、当時漫然と学生生活を過ごしていた私に僧侶の勉強をしに仏教学校へ行かないかと打診があり、亡き祖母に対する祖母孝行の気持ちで進学しました。そこで入学初日に聞いたお経の大声の衝撃は今でも忘れられません。

既に経験値のあるお寺育ちの同期に囲まれて、勉強についていくことができるのかと不安でしたが、一ヶ月、半年と経つにつれ徐々に読経や作法も体に馴

染んでいき、得度を終え学校を卒業する頃には僧侶として人前に立つ自信がついたように感じていました。

自坊のある湖陵町に戻り、実際にご門徒様のお宅にお伺いするようになると、様々な実情や課題が見えてきました。

私自身は情報社会の急激な発展と個人が尊重される時代の中で生き、お寺と人々との関係の過渡期の中に立っていると感じています。

一口に時代に合ったお寺を目指すというよりは、多様な事情を持った人々に柔軟に対応できるお寺の形を模索する日々です。そうしたお寺を創り上げていくためには、他ならぬ

身近にいらつしやるご門徒の皆様や地域の人たちの想いに耳を傾けていく事が必要だと考えています。

私はお支えくださっている方々に住職の職務という自分の身の丈よりも「大きなサイズの衣装」を着させていただいているのではないと思っております。皆様にご指導いただき、自分自身が研鑽して大きくなることを目指していきたく思っています。

葬儀の縮小化、お墓の管理、そして何より人と宗教との関わり方と変化の多い世の中ですが、沢山の方々の話を聴き、私らしく寄り添える住職として努めて参ります。 合掌

ご案内

令和5年度 島根県仏教徒大会
出雲仏教会 仏教講演会

混迷の時代を生きる
～みほとけの教え～

落語 講義
まるこの 露の団姫さん
落語家・天台宗僧侶
落語家 まるこの 仏道修行

落語家として、また僧侶としてテレビやラジオでも活躍される露の団姫(つゆのまるこ)さん。時には人々を笑顔にし、時には人々の悩みを耳を傾ける。そんな生き方に日々私たちが安らぎに暮らすヒントを学びます。

日時 令和5年 9月27日(水)
13時30分より(12時30分開場)

会場 出雲市民会館 大ホール
島根県出雲市堀治有原町2丁目15番地

参加方法
おひとり 500円 チケットの購入が必要です

主催 島根県仏教会
共催 出雲仏教会 出雲仏教徒会
後援 出雲市社会福祉協議会 山陰中央交通社 島根日報新聞社 出雲ケーブルビジョン ひらたCATV株式会社

お問い合わせ
一問一答 (0853-67-0111) ※10時から15時まで

島根県仏教会(兼出雲仏教会)の講演会のご案内です。誰でも参加できますが、入場にはチケットが必要です。席に限りがありますので、詳細につきましては各寺におたずねください。

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年 神門組慶讃法要

親鸞聖人御誕生 850 立教開宗 800

AI時代も AMIDAといっしょ

2024.4/20(土)
10:00~16:30
大社文化プレイスうらら館
島根県出雲市大社町杵築南1338-9

慶讃法要・記念法話 13:30~15:30

記念法話講師
まつばきまかい
松崎智海 師
福岡県北九州市
永明寺住職

参拝チケット: 2,000円
★協賛行事 飲食クーポン付き
だんだんホール入場の際に必要な
チケットです。
(協賛行事のみご参加の場合は不要)

有料ブース
だんだん
ホール

協賛行事 10:00~16:30
※一部10:00~13:30、15:30~16:30

◎キッチンカー ◎飲み物 ◎念珠づくり体験
◎本願寺出版(書籍) ◎刑務所作業製品 など
※各ブースの内容は変更になる場合があります。

無料ブース
ごえんホール
ロビー 他

「帰敬式」を受けましょう

阿弥陀さまは「決してあなたをひとりぼっちにすることはしない。」とお誓いください、この私のもとにその願いは届いています。「私はひとりではなかった」というよろこび・自覚を新たにし、親鸞聖人が伝えてくださった「南無阿弥陀仏」を依りどころに生きていく第一歩として受けさせていただく儀式が「帰敬式」です。

「帰敬式」を受式すると、お釈迦さまの仏弟子としての名前、「釋〇〇」という「法名」をいただきます。本来は命が終わってからのいただくのではなく、生きている「今」であるからこそ、私が「仏になれる道」をよろこび受式するものです。

通常であれば、ご本山(京都・西本願寺)の御影堂において本願寺ご住職(ご門主)によって執り行われますが、神門組ではこの度の慶讃法要にあわせ、西本願寺より「お手替わり」(帰敬式執行者)の方に乗光寺さまに来ていただき、「帰敬式」を執行いたします。

普段なかなか京都までいくことができない方も、このご法要を機会に、是非受式をしてみたいかがでしょうか。詳細は各寺院の住職にお尋ねください。

| | | | | |
|-----|------|--------|-------------------|----------------------|
| 帰敬式 | 日 | 時 | 令和6年4月20日(土) | 午前中(人数によっては2回に分けて実施) |
| | 会 | 場 | 乗光寺(出雲市大社町杵築東598) | |
| | 募集人数 | 100名以内 | | |

前進座 出雲公演のご案内

親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要記念
「花こぶし 親鸞聖人と恵信尼さま」

日時 令和5年12月13日(水) 13:30開演(13:00開場)

会場 出雲市民会館大ホール

チケット(全席指定)

S席 5,000円 A席 4,000円

詳細は各寺院にお尋ねください。



親鸞聖人と恵信尼さま
弱き者、貧しき者をこそ救わんと、
道を照らした親鸞聖人と
その妻恵信尼の、慈しみと絆の物語

花こぶし

渡辺番則 作
河原崎國太郎・川名あき 演出

★ 前進座特別公演
親鸞聖人御誕生 八五〇年
立教開宗 八〇〇年 記念

後援
浄土真宗本願寺派
真宗大谷派
真宗教団連合

◆ 報恩講のご案内

新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止する場合があります。

| 中央部 | | | | 西部 | | | |
|-----|-----|--------------|-----------------------|-----|-----|------------|-----------------------|
| 今市 | 明顕寺 | 10月17日 | 2時より | 大池 | 慶正寺 | 11月3日 | 1時30分より |
| 塩冶 | 長楽寺 | 10月22日・23日 | 2時より | 神門 | 浄眼寺 | 10月8日 | 2時より |
| 白枝 | 願楽寺 | 10月25日 | 2時より | 口田儀 | 清龍寺 | 11月15日 | 1時30分より |
| 大津 | 光明寺 | 10月30日・31日 | 2時より | 奥田儀 | 能正寺 | 11月18日 | 1時30分より |
| 下古志 | 正蓮寺 | 11月5日・6日 | 2時より | 差海 | 観音寺 | 11月19日 | 2時より |
| 今市 | 西楽寺 | 11月7日 | 2時より | 江南 | 西蓮寺 | 11月23日 | 2時より |
| 矢野 | 長泉寺 | 11月16日 | 2時より | 神門 | 願勝寺 | 10月29日 | 2時より |
| 白枝 | 真宗寺 | 11月24日・25日 | 1時30分より | 久村 | 西楽寺 | 11月26日 | 2時より |
| 東部 | | | | 南部 | | | |
| 上津 | 善福寺 | 11月13日 | 1時30分より | 山口 | 西善寺 | 10月28日 | 1時より |
| 上津 | 西圓寺 | 11月18日 | 1時30分より | 窪田 | 明円寺 | 11月23日 | 1時30分より |
| 船津 | 正善寺 | 11月24日・25日 | 24日 2時より 25日 10時より | 山口 | 光林寺 | 11月23日 | 1時より |
| 稗原 | 正応寺 | 11月23日 | 1時30分より | 窪田 | 明教寺 | 11月26日 | 1時30分より |
| 所原 | 東林寺 | 11月20日 | 2時より | 北部 | | | |
| 所原 | 西念寺 | R6.4月27日・28日 | 1時30分より | 荒木 | 明源寺 | 休座 | |
| | | | | 大社 | 乗光寺 | 11月27日・28日 | 27日 2時より 28日 10時より |
| | | | | 大社 | 願立寺 | 11月28日・29日 | 28日 2時より 29日 10時より |
| | | | | 荒木 | 知西寺 | 12月3日 | 1時30分より |

※9月19日現在の予定です。
お誘いあわせお参りください